

ユニバーサルデザイン 建築ガイドライン

Universal Design Architectural Guideline



熊本県

Kumamoto Prefecture

だれもが暮らしやすく豊かなくまもとの実現をめざして

本格的な少子高齢社会を迎える中、人々の価値観やライフスタイルの多様化も進み、年齢、性別、国籍、障害の有無を越えて、だれもが一人の人間として尊重され、それぞれの個性が大切にされる社会、すなわち、すべての人を視野にとらえたユニバーサルデザイン(UD)の理念に基づく環境づくりが様々な分野で求められています。

このガイドラインは、平成14年2月に県が作成した「くまもとユニバーサルデザイン振興指針」に基づいて、建物におけるUDを推進するため、設計の考え方、進め方、参考となる基準等を示しています。

また、「対話によるデザイン」、「さりげないデザイン」、「追いつめるデザイン」という熊本でのUDの3つの基本姿勢に立ち、建物づくりの計画段階からの利用者ニーズ把握のための仕組みづくりを提案しています。

建物づくりの一連のプロセスの中で利用者となる県民の皆様参加をお願いし、また、日常的な生活の中においても、UDの視点での積極的な提案をいただき、それらの体験や情報の共有を図ることで、行政、企業(事業者)、県民の皆様とのパートナーシップによる持続可能なUDの推進が展開されることを期待しています。

このガイドラインの活用を一つの契機として、県民の皆様と、新たなUDの展開を進めて参りたいと考えています。

このガイドラインの策定に当たり、貴重な御意見をいただきました公共的建築ユニバーサルデザイン策定委員会委員の皆様をはじめ、県民の皆様に深く感謝申し上げます。

平成15年 2月

熊本県知事 潮谷 義子

目次

序章

1 はじめに	1
2 このガイドラインの性格	3
3 身近な建物のユニバーサルデザイン	4
4 ユニバーサルデザイン(UD)の基本的な考え方	6

第1章 ユニバーサルデザインによる建物づくり

1 建物づくりのプロセス	10
2 利用者ニーズの把握や評価の方法	12
3 改修工事の留意点	14

第2章 建築空間におけるユニバーサルデザイン

1 移動空間	16
基本事項 / アプローチ / 駐車場 / 玄関 / 廊下等 / 出入口 / エレベーター・エスカレーター / 階段 / スロープ / レジ通路・改札口等 / プラットホーム等 / 手すり	
2 生活空間	29
基本事項 / トイレ / 多機能トイレ / 更衣室・シャワー等 / 浴室 / 宿泊施設・客室 / 観覧席・客席 / カウンター・水飲み場 / 授乳室等 / 家具 / 操作ボタン・スイッチ等	
3 情報装置	41
基本事項 / 視覚情報サイン / 触覚情報サイン / 聴覚・嗅覚情報サイン / 情報機器	

第3章 UDデータブック

1 利用者のタイプ別行動特性と企画設計上の配慮	49
2 参考となる数値基準	52
3 車いすの移動を考慮した必要幅等の参考数値	65
4 トイレの詳細	66
5 案内用図記号	72
6 国際障害者交流センター(ビッグアイ)でのプロセスと成果	78
7 県内のユニバーサルデザインによる施設整備の概要	80
8 商店街・店舗についての施設整備要望	88

付 指針の策定経緯と参考資料

1 策定経緯	90
2 参考資料	91